国際ロータリー第2620地区　藤枝ロータリークラブ　会報　2006年 4月 19日（水）ＮＯ．38

FUJIEDA ROTARY CLUB
Weekly Bulletin

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321

会長：鈴木廣利　副会長：村松英昭　幹事：松葉隆夫　副幹事：後藤　功

第1665回

<ソング> R－O－T－A－R－Y
<ソングリーダー>松葉 義之君

SERVICE Above Self

2005-2006年度 RIテーマ
超我の奉仕
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

水仙
写真提供 ： 鈴木舜光君

■ 会 長 挨 拶　　鈴木 廣利君

木々の緑が美しい季節になりました。さわやかな風に吹かれて歩くのは、本当に気持ちのよいものです。そんな気分を味わえる季節なのに１６日の日曜日は生憎の雨になってしまいました。地区協議会にご参加いただきました皆様、大変ご苦労様でした。

本日私は所用で１１時より静岡で会議がありまして例会を欠席致します。村松副会長に点鐘をお願い致しましたのでよろしくお願いいたします。

尚、来る２３日の第４、第５分区合同のＩＭにつきまして出席をお願いしています会員の皆様にはぜひ欠席するような事のないようよろしく重ねてお願い申し上げます。

■ 幹 事 報 告　　松葉 隆夫君

○「国際ロータリー会員増強推進計画の表彰」クラブ用提出書式がガバナー事務所より届いております。

○社会福祉協議会評議員の選出について藤枝市社会福祉協議会より届いております。

○４月例会臨時変更が静岡ＲＣ・静岡中央ＲＣより届いております。

４／２４（月）
静　　岡　：　ブケ東海静岡
静岡中央　：　グランドホテル中島屋
受付時間　１７：００～１８：００

◎お知らせ

（株）御園座より　４月２４日陽春大歌舞伎の御観覧券（招待券）が２枚郵送されてきました。

■ 出 席 報 告　　後藤 功君

本日のホームクラブ出　席　者	前回の補正出席者
27／41　65.85%	34／41　82.93%

（１）欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）
○杉山君　○飯塚君　○鈴木廣君　○仲田廣君
○成瀬君　○増田君　○水野君　○宮川君
浅川君　板倉君　桜井富君　鈴木舜君　仲田晃君
望月志君

■ ビ ジ タ ー

小池 吉久君（藤枝南）

■ スマイルＢＯＸ　　後藤 功君

○１５周年では大変お世話になります。
藤枝南ＲＣ会長　小池 吉久君

○４月１４日、藤枝市茶商工業共同組合総会において新理事長に就任致しました。宜しくお願い致します。　松葉 隆夫君

スマイル累計額　　６５２，６８０円

■ 地区協議会報告

次年度会長
村松英昭君

４月１６日アピオ甲府にて開催されました。

当日、午前８時にバスにて藤枝を出発。藤枝・藤枝南クラブ・柴さんの総勢２２名で出かけました。アピオ甲府に１０時３０分に到着致しました。

１１時より鈴木亀雄ガバナーの点鐘で本会議が始まりました。ガバナーエレクトの井上雅雄君より「次年度方針説明」があり、ＲＩテーマ「率先しよう」であり、ウィリアム．Ｂ．ボンド２００６～２００７年ＲＩ会長の強調事項は、水保全、識字率向上、保健及び飢餓、ロータリー家族でありますとのお話しがあり、井上雅雄ガバナーエレクトの理念として、「職業奉仕と親睦」をかかげられ、以下の４項目を実践して行きたいとのお話しがありました。

① 職業奉仕とは、自分自身の日常（職業）生活で倫理、誠実の規範を実行に移すこと
② 親睦とは、すべてに信頼できる友人を得るための手段です。
③ 社会奉仕、国際奉仕、新世代に対する奉仕は職業奉仕から生まれ、実践されるものです。
④ ロータリークラブにおけるクラブ奉仕は、職業奉仕に裏付けられた最も重要なクラブ管理運営の組織です。

○米山梅吉記念館について、内藤パストガバナーよりお話しがありました。米山記念館にぜひ大勢の方々がお出掛け下さるようお願い致します。そして、米山梅吉氏を通してロータリーの精神を今一度学んでほしい。

○ロータリーの友について小林ロータリーの友常任委員よりお話しがあり、昭和２８年より発行されている雑誌です。いろいろな情報がつまっています。よくお読み下さい。

１３時分科会があり、１４時５０分全体会議があり、１６時３０分閉会の点鐘で終りました。帰りはバスの中で一杯やりながら帰ってまいりました。

分科会報告

私はガバナー補佐・会長部会に出席致しました。

○２００６～２００７年度地区目標、地区予算案、承認

地区目標

１．会員増強
　会員数　６０名以上　＋３
　４０名～５９名　＋２
　３９名以下　＋１

２．ロータリー財団寄付
　ＵＳ＄１００／人・年

３．ベネファクター
　各クラブ１名以上

４．米山記念奨学会事業寄付
　￥１２，０００／人・年

５．ＧＳＥ第４４３０地区（ブラジル）
　受入２００６年１０月
　派遣２００７年５月

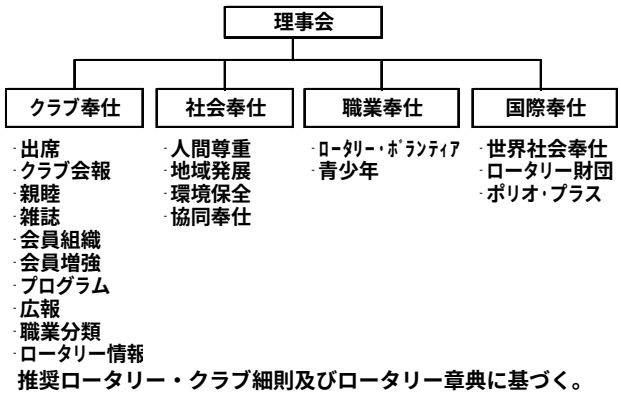
６．地区活性化援助金　￥２０００／人・年
　米山記念館補助金、青少年交換補助金
　ＩＴシステム化補助金、富士山環境美化

○クラブ・リーダーシッププランについて、現在のクラブ運営を見直す！！
（ロータリークラブに活力が低下し、全世界的に会員の減少がみられるため）
このプランでは５つの常任委員会を任命する事を推奨しています。

・会員、増強、退会防止委員会
・クラブ広報委員会
・クラブ管理運営委員会
・奉仕プロジェクト委員会
・　ロータリー財団委員会

＜現在の委員会の構成＞

クラブ委員会及び小委員会の機構

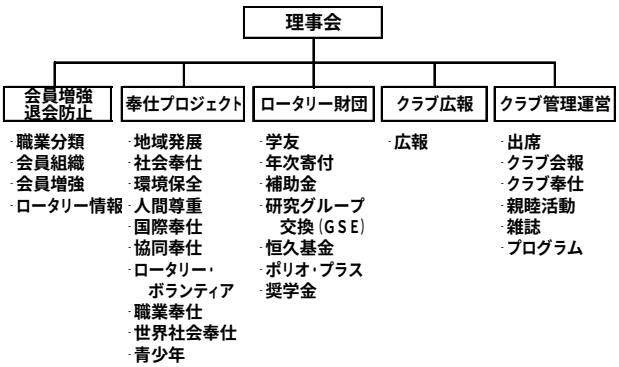


推奨ロータリー・クラブ細則及びロータリー章典に基づく。

＜クラブリーダーシップ・プランに基づく委員会構成＞

任意のクラブ委員会および小委員会の機構

機能別グループに基づく



◎クラブ委員会

クラブ・リーダーシップ・プランは、クラブの年次目標を実現するために、以下の５つの常任委員会を任命することを推奨しています。

・会員増強・退会防止委員会
クラブ会員の勧誘と退会防止の計画を立案、実施する。

・クラブ広報委員会
ロータリーに関する情報を一般の人々に提供し、クラブの奉仕プロジェクトや活動を推進するための計画を立案・実行する。

・クラブ管理運営委員会
クラブのすべての管理運営の活動を実施する。クラブ幹事および会計は、この委員会の委員となるものとする。

・奉仕プロジェクト委員会
地元社会や他国の地域社会のニーズを取り上げた教育的、人道的、職業的プロジェクトを立案、実行する。

・ロータリー財団委員会
寄付および財団プログラムへのクラブの参加の両面から、ロータリー財団を支援するための計画を立案、実施する。

次年度幹事
後藤功君

前半のセレモニーが終わり昼食後９０分に渡って研修が行われました。アドバイザーは佐藤進パストガバナー、リーダーは甲府南の菅野清純次期地区幹事、サブリーダーは甲府南の中山洋一次期地区副幹事です。

はじめに佐藤アドバイザーより規定審議会の決定事項として、識字率向上月間を７月から３月に変えるようお話しがあり、続いてクラブ幹事要覧に基づいてクラブ幹事の役割と責務、クラブ幹事の予定表、就任に備えて、任期のはじめにしておくべきこと、報告義務の把握、クラブ会長との協力と職務分担、クラブ幹事の任務、地区協議会、地区大会開催の意義、また、任期の終わりに確認しておくべき事柄等、こと細かくお話がありました。終わりに、現クラブの、推奨ロータリークラブ細則およびロータリー章典に基づく、クラブ委員会及び小委員会の機構または、機能別グループに基づく、任意クラブ委員会及び小委員会の機構でやっていくのか、ガバナー補佐、ガバナー訪問までに、さらに年度の方針等について方向性をだしておくよう依頼がありました。さらにＩＴ推進委員会よりＩＴを積極的に活用するよう要望等ございました。現在幹事の仕事の多くを事務局に依存している状況のため、充分情報交換を行い意思疎通を図り、楽しくクラブ運営に励むことが大事なことではないかと再確認したところです。

次年度クラブ奉仕委員長
小宮弘一郎君

協議会分科会は、クラブ奉仕（小宮）会員増強（青島克）で出席勉強会を行った。内容は「クラブ・リーダーシップ・プラン（ＣＬＰ）を施行してロータリークラブの強化を図る」を目標にして行われた。

クラブ・リーダーシップ・プランの目的は、効果的なクラブ管理の枠組みを提供することにより、ロータリークラブの強化を図ることです。

・　会員基盤を維持、拡大する。
・　地元地域社会ならびに､他の国々の地域社会のニーズを取り上げたプロジェクトを実施、成功させる。
・　資金の寄付及び､プログラムへの参加を通じて、ロータリー財団を支援する。
・　クラブの枠を超えて､ロータリーにおいて奉仕できる指導者を育てる。

その他、明細は後日委員会等で検討する予定です。

次年度職業奉仕
委員長
酒向謙次君

次年度ＲＩテーマ「率先しよう（Ｌｅａｄ　Ｔｈｅ　Ｗａｙ）」（２００６～２００７）が示され、それを受けて井上ガバナーエレクトより「率先しよう～職業奉仕と親睦を～」が掲げられました。

今回のように職業奉仕が前面に押し出されたことは、初めてのようで「職業奉仕」が基本であることを再確認し実践を通して職場、地域社会、家庭の営みのなかに自分自身の「かけがえのなさ」を取り戻していき、その中にすべてに信頼できる友人を得てそういった仲間のネットワークを広げていく、それがロータリー運動だとの考えが示されました。

職業奉仕委員会におきましては、青柳委員長より職業奉仕の真髄はロータリーの説く職業倫理の実践と高揚・普遍にあり、と。「ロータリーの説く職業倫理」とは自らの職業生活に適用し実践することが職業奉仕の出発点で、「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」という「実践倫理の原理」に他ならないのである。而して、ロータリアンの職業奉仕とは、実践倫理の原理を地域社会の職業人に自らの実践を通して広めていくことである。職業奉仕の理念は、実践倫理の原理を地域社会の職業人に普及することにより、地域社会の平和と安定をもたらすことである。

次年度社会奉仕
委員長
松葉義之君

アドバイザー中野哲男Ｐガバナーの司会進行により、リーダー三嶋豊造次期委員長、サブリーダー後藤臣修次期副委員長、地区８３クラブ参加にて当分科会が行われました。地区としては本年も引き続き「富士山を世界文化遺産」にすべく、美化への活動を続ける。夏期に清掃活動、下草刈りを実施予定で、当クラブも協力いたします。いくつかのクラブの活動報告がなされました。環境美化等に自治体、各団体と連携を深めタイアップして具体的な活動を展開してほしい。高齢者支援も重要課題となっている。各クラブ共関係団体との関りを深めて支援活動を進めて行ければとの話がありました。
次年度はこれ等を踏まえて活動を進めて行きたいと考えております。

次年度国際奉仕
委員長
石垣善康君

「世界社会奉仕活動」と「青少年交換活動」を次年度も、重点項目として、活動する。

「世界社会奉仕活動」とは、外国への社会奉仕活動であり、その内容は、識字率の向上、保健衛生の向上、飢餓と貧困からの脱却を必要としている地域への支援プログラムである。
その事例として、学校、図書館の建設寄贈、放置自転車の寄贈、学用品等の寄贈などが発表された。

「青少年交換活動」について、当地区の交換学生は、年々減少の傾向となっている。しかし、当地区だけ、この事業を衰退させるわけにはいかないので、今後、分区内輪番制を検討し、出来たら実施をしたい、との地区役員からの説明

があった。
（分区内輪番制）
各分区毎、責任をもって、毎年最低１名の交換学生の派遣、受け入れを実施する。

■地区協議会■

２００６年４月１６日（日）
会場　　アピオ甲府

（担当／望月俊）